

名古屋港管理組合議会3月定例会 (2021年3月26日)

名古屋港管理組合議会3月定例会について

一、名古屋港管理組合議会3月定例会は、3月26日～30日の日程で行われました。

一、議案は2020年度補正予算案や2021年度予算案、給与条例改正案など計9件が提案されました。

一、一般質問には江上博之議員がたち、飛島ふ頭の大水深バースについて質問しました。

一、日本共産党はムダな大水深バース建設や中空沖の新土砂処理場建設関連を進める一般会計予算など4件と給与引き下げ条例の計5件に反対しました。

一、決算審議は閉会中に行われ、3月議会初日に採決が行われました。大水深バース建設関連の2決算に反対。

3月議会の日程

月日	会議	内容
3月15日(月)	議員総会	議案説明・資料要求・その他事務説明
	特別委員会	港湾機能継続特別委員会
26日(金)	本会議	決算の採決 提案説明・一般質問・議案質疑
29日(月)	委員会	議案審査・意思決定
30日(火)	本会議	採決

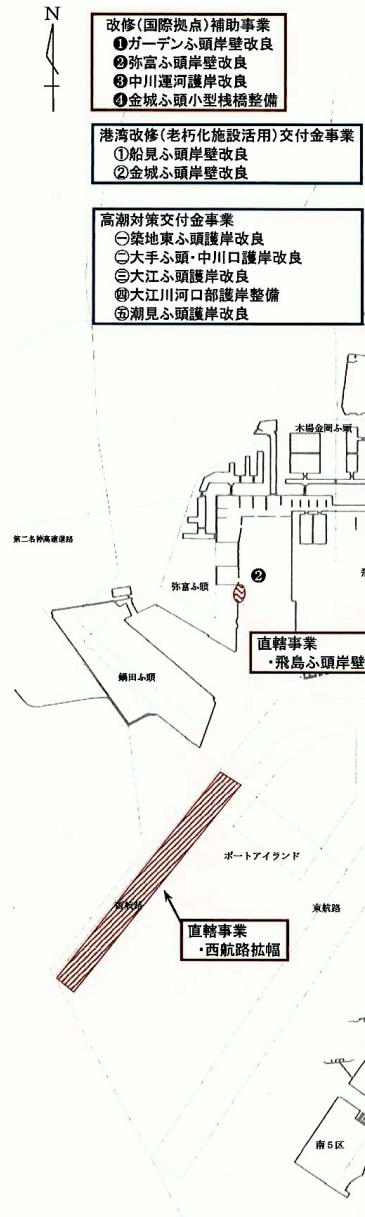
名港議会での議案に対する態度 (2021年3月26日 30日)

2021年3月 名古屋港管理組合議会 議案一覧

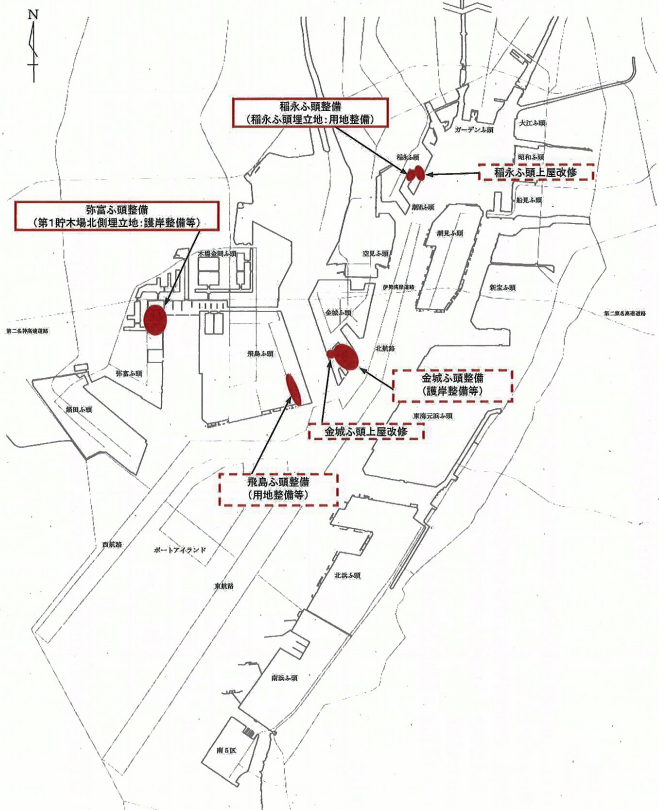
議案名	名古屋市会選出				県会選出			結果	概要
	共	自	民	公	減	自	民		
2021年度名古屋港管理組合一般会計予算	●	○	○	○	○	○	○	○	可決 372億円。前年比▲3.2%。港湾整備の県市負担金69億円。金城ふ頭と飛島ふ頭の岸壁改良など国際競争力・産業競争力の強化などに8.9%増の113億円、安全確保、防災対策等は97億円の▲19.0%、ガーデンふ頭岸壁整備など親しまれる港づくりに34億円、19.4増など。新土砂処分場整備の基金負担金45億円も。
2021年度名古屋港管理組合基金特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 1.4億円。▲34.7%。水族館振興基金▲53.6%、海事文化振興基金▲36.9%、環境振興基金4.4%増。
2021年度名古屋港管理組合施設運営事業会計予算	●	○	○	○	○	○	○	○	可決 支出76億円。4.5%増。上屋25棟、貯木場8か所、荷役機械5基、ふ頭用地240万㎡。営業収益37億円等。ふ頭用地整備に28億円
2021年度名古屋港管理組合埋立事業会計予算	●	○	○	○	○	○	○	○	可決 支出55億円。35.7%増。西部臨海土地造成事業で、稲永ふ頭埋め立て地の整備および第1貯木場北側埋立地の護岸整備など。
名古屋港管理組合港湾整備事業の設置等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 2020年に整備目標年度に達したため新たな目標年度を2025年度に改め鶴愛用を、上屋34棟(14.4万㎡)→25棟(12.7万㎡)、貯木場8か所(181.8万㎡→158.3万㎡)に改める
2020年度名古屋港管理組合一般会計補正予算	●	○	○	○	○	○	○	○	同意 22億6,800万円の補正。高潮対策事業や堤防老朽化対策、飛島ふ頭岸壁、鍋田ふ頭西航路、庄内川泊地しゅんせつなど、国の補正や内示差に伴う増額や清算。コロナ対策で減収したポートビルへの指定管理料を1億円増など
2020年度名古屋港管理組合基金特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 1億600万円の補正。海事文化振興基金を取り崩し、一般会計経由でポートビル指定管理料の支援に
給与条例の一部改正	●	○	○	○	○	○	○	○	可決 名古屋市の給料表に準じて▲0.24%の改正。住居手当を16,000円以上の家賃に11,500円を上限に支給。期末手当を年間4.5月→4.45月。
工事請負契約(金城ふ頭護岸築造工事その4)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (誰もが働きやすい現場環境整備工事)金城ふ頭護岸工事を19億5250万円で鈴中・徳倉・服部特定建設工事共同企業体に。工期2022年3月18日。
2019年度名古屋港管理組合一般会計決算	●	○	○	○	○	○	○	○	可決 歳入307億8052万円、歳出287億9772万円。差引19億8280万円、実質収支9億478万円、単年度収支5683万円の黒字。
2019年度名古屋港管理組合基金特別会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 歳入4億4879万円、歳出4億4865万円。差引13万円。実質収支13万円、単年度収支11万円の赤字。年度末基金残高は水族館12.1億円、海事文化4.6億円、環境1.3億円の計18.1億円。
2019年度名古屋港管理組合施設運営事業会計決算	●	○	○	○	○	○	○	○	可決
2019年度名古屋港管理組合埋立事業会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○=賛成 ●=反対 / 共:日本共産党 自:自民党 民:民主党 公:公明党 減:減税日本ナゴヤ

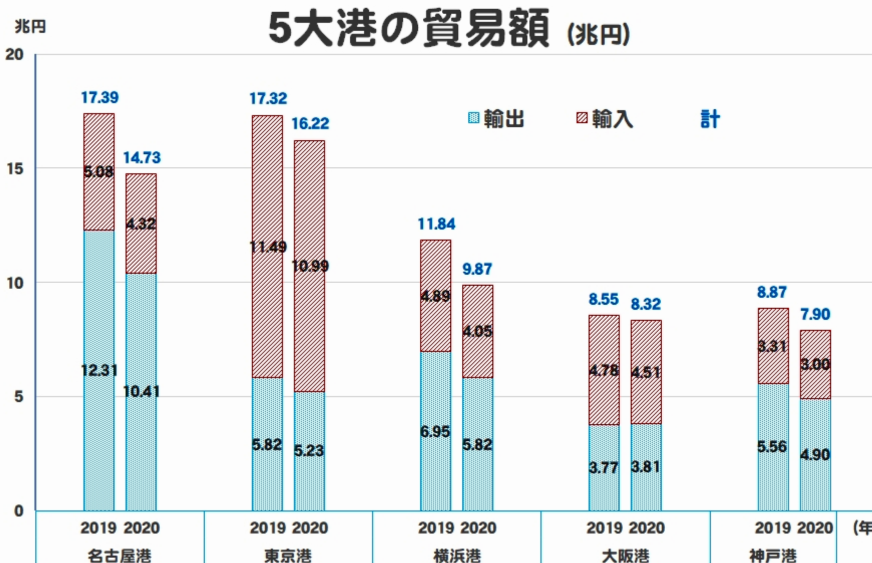
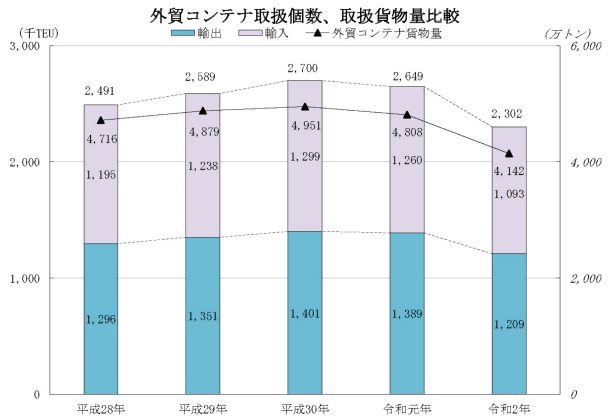
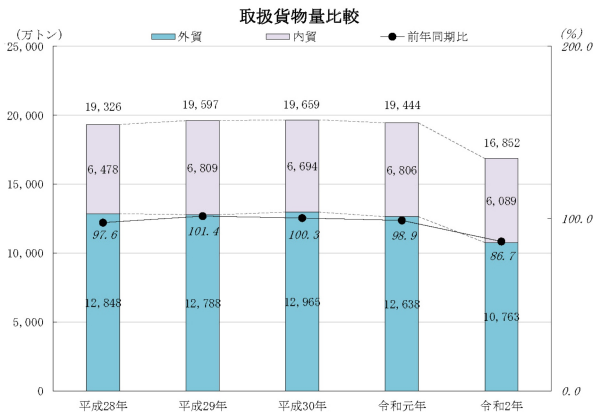
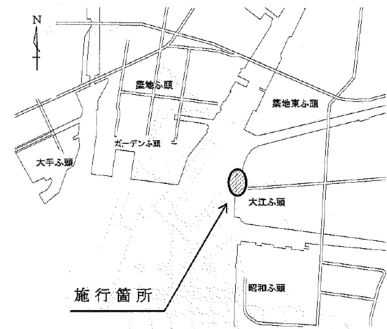
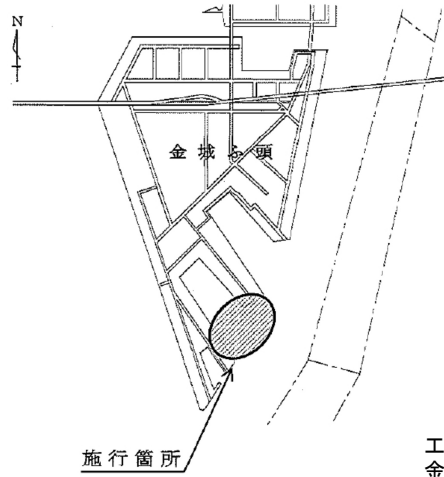
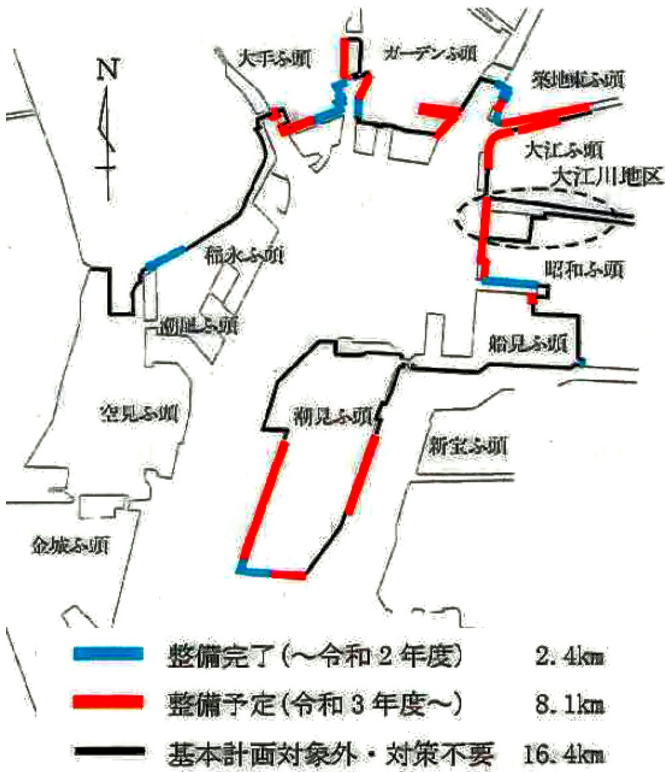
工事施行箇所図 一般会計



工事施行箇所図 施設運営事業会計
埋立事業会計



防潮壁整備箇所図



名古屋港管理組合議会 3月定例会 一般質問 (3月26日)

しゅんせつ土砂処分計画は中部国際空港沖の埋め立てを優先し、環境破壊を進める計画だ

江上博之議員



しゅんせつ土砂の中部国際空港沖公有水面への処分について

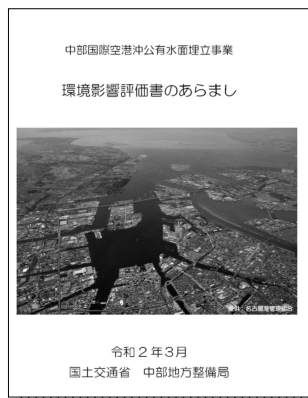
土砂の処分地を増設するにしても、なぜ最優先に空港島周辺となるのか

【江上議員】「しゅんせつ土砂の中部国際空港沖公有水面への処分について」質問します。

この1年、新型コロナウイルス感染症の拡大で対応に追われました。そして、様々な問題の見直しが求められることになりました。港湾のあり方も変わるでしょう。世界的な貿易のあり方の見直しが行われ、それに伴う物流のあり方も変化します。パンデミックはこれからも起きることを想定し、いざという時のために、海外の安い人件費に頼る構造から国内産業、地元生産の必要性を位置付けないと私たちの命、暮らしが守れない心配が出てきました。

そのような中で、今回、中部国際空港沖公有水面埋立事業に関連して港湾計画の変更が報告されています。

しゅんせつ土砂約3,800万m³を名古屋港外の中部国際空港沖公有水面埋立計画地に処分できるようにするものです。空港島西隣接地や南東部をしゅんせつ土砂処分地に加え、約290haを埋め立てる計画で、そのうち空港島西



中空沖への新たな埋立土砂の内訳

区分		土砂(万m ³)
港湾機能の強化や維持等により発生する土砂	コンテナ取扱機能の強化	400
	バルク貨物取扱機能の強化	500
	港湾機能の維持により発生する土砂	300
	名古屋港ポートアイランド仮置土砂	2,000
中長期的に必要な港湾機能の維持により発生する土砂 (維持浚渫: 30万m ³ /年 × 20年)		600
合計		3,800

隣接地の中部国際空港第2滑走路予定地は15年ほどで埋め立てようというものです。コロナ感染症による交流人口のあり方に変化がみられる中、中部国際空港の第2滑走路の増設計画そのものの必要性が疑問であり、その拡張による自然への影響も大きなものがあります。

名古屋港のしゅんせつ土砂は、今年度見込みで、約60万m³。そのうち、港の維持しゅんせつのために約15万m³で、残り約45万m³は、国直轄事業の整備する航路や泊地等に係るしゅんせつ土砂の処分です。しゅんせつ土砂処分の多くは、名古屋港大水探岸壁建設に伴う泊地や航路のしゅんせつによるものです。名古屋港のしゅんせつ土砂は、港の維持しゅんせつ以上に開発のためのしゅんせつが3倍近くになっている事実を見る必要があります。

今回、「名古屋港港湾計画の軽易な変更について」「新たな土砂処分場の確保について」の報告がありました。2015年に改定された港湾計画からの変更をしようとするものです。現計画では、しゅんせつ土



砂の処分として2027年ぐらいまでに4070万m³を現ポートアイランドの周辺や南側、南5区第2期工事予定地域などを埋立予定地としています。今回の計画は、新たに名古屋港の外にある中部国際空港押公有水面に土砂約3800万m³を埋め立てる提案です。

そこで、企画調整室長に質問します。現港湾計画にあるポートアイランド周辺や南側、南5区第2期工事予定地で埋め立ては行われていません。現計画で埋め立ても行われていないにもかかわらず、なぜ、今回の処分地増設を行うのですか。また、なぜ、埋め立て処分地として空港島周辺を最優先で埋め立てるのですか。

新たな処分場を複数の候補地から技術的、経済的な観点で比較検討を行い、市民の意見や学識者の第三者委員会の助言を踏まえ、中部国際空港沖を選定 (室長)

【企画調整室長】港湾計画は、港湾の開発、利用及び保全等の基本的な計画であり、埋立計画が必ずしも直ちに事業化できるというものではない。

中部地方整備局は、港内の水域が既に航路や泊地などに利用されており、大規模な土砂処分場を計画する余地がないと判断し、新たな処分場を複数の候補地から技術的、経済的な観点で比較検討を行い、一般の方への意見募集や学識者で構成する第三者委員会の助言を踏まえ、中部国際空港沖を選定した。

その後、事業化に向けた一連の手続きが整ったの



図 2.1-1 名古屋港で浚渫が必要となる範囲

で、しゅん土砂を港外に処分する。

管理組合が基金を負担する理由と本組合以外の負担者の有無はどうか

【江上議員】この埋め立てに伴って、漁業関係者に抛出する処分場整備に係る基金負担金について質問します。提案では、公有水面埋立事業の実施により予測される漁業への影響を緩和し、将来にわたって安心して漁業を営むことができるよう、(公益財団)愛知県水産業振興基金及び(公益財団)三重県水産振興事業団へ基金を抛出する予算を計上しています。

そこで、企画調整室長に質問します。この基金などに負担する理由は何ですか。管理組合が抛出しなければならない理由は何ですか。負担するのは、管理組合以外どこですか。

名古屋港港湾計画書
— 改訂 —
2015年12月

(略)

IV港湾の環境の整備及び保全

2 廃棄物処理計画

本港において発生の見込まれる浚渫土砂を埋立処分するため、海面処分用地を次のとおり計画する。

既定計画どおりとする。

既定計画		
(南5区)	海面処分用地	198ha
(ポートアイランド)	海面処分用地	78ha



名古屋港港湾計画書
— 軽易な変更 —
2021年3月

変更理由

港湾の開発等により発生する浚渫土砂の処分に対応するため、廃棄物処理計画を変更する。

港湾の環境の整備及び保全

1 廃棄物処理計画

本港において発生する浚渫土砂の処分について、以下のとおり計画する。

(1) 国による新たな処分場計画に基づき、港湾機能の強化や維持等及び中長期的な港湾機能の維持により名古屋港から発生する浚渫土砂約3,800万m³を、名古屋港外において処分する。

[新規計画]

事業者である中部地方整備局が漁業補償を行い、港湾管理者として本組合が基金を拠出する。基金の拠出は本組合のみ(室長)

【企画調整室長】現在のしゅんせつ土砂処分場であるポートアイランドの受入容量が限界に近付いている中、港湾施設の建設・改良及び維持に伴い発生するしゅんせつ土砂の処分場を長期的・安定的に新たに確保することは、港湾法に定める港湾区域及び港湾施設を良好な状態に維持するために必要な港湾管理者の本来業務です。

一方、本事業による埋立区域及びその周辺海域は、伊勢湾内でも良好な漁場となっており、早期に事業着手するためには、漁業者の理解と協力が不可欠です。

そのため、隣接する中部国際空港の整備時、漁業者の理解を得るために漁業補償を行うとともに基金の拠出を行うことで事業を進めた事例を参考に、本組合と中部地方整備局は、愛知県及び三重県の漁業協同組合連合会と調整を重ね、事業者である中部地方整備局が漁業補償を行い、港湾管理者として本組合が基金を拠出することとした。

基金を拠出するのは本組合のみです。

現在埋立中のポートアイランドと、第4ポートアイランドの違いは(再質問)

【江上議員】企画調整室長は、第4ポートアイランドは事業化のめどが立っていないから埋立が行われないと回答がありました。では、埋め立てられている現ポートアイランドの区域は事業化されているということになります。ポートアイランドの現に埋め立てられている場所と、今回質問したポートアイラ



ンドの埋め立て予定地と事業化という点で何が違うのか区別が付きません。

そこで、企画調整室長に質問します。この違いを説明してください。

現在埋め立てているポートアイランドは所定の手続きを経て処分場として活用中で、第4ポートアイランドは事業化に向けた手続きを行う状況にはない(室長)

【企画調整室長】「現在、埋立中のポートアイランドと、第4ポートアイランドの違い」について、お答えします。

現在、ポートアイランドの埋め立てている区域は、中部地方整備局が公有水面埋立法に基づく埋立承認など所定の手続きを経て事業着手し、現在もなお土砂処分場として活用しています。

第4ポートアイランドは、環境影響評価法及び公有水面埋立法に基づく事業化に向けた手続きを行う状況に至っていない。

名古屋港区域外の空港沖の公有水面埋立予定地で新たに土砂処分を行う理由は(再質問)

【江上議員】管理組合として、地球温暖化対策に取り組む、自然を少しでも残すよう取り組んでいるはずですが、また、漁業を安心して営むようにするのであれば、自然破壊を行うべきではありません。回答でも「良好な漁場」となっています。にもかかわらず、海の海流、漁業など自然や漁業者に影響を与えるしゅんせつ土砂の処分をなぜ空港沖の公有水面埋め立て予定地で新たに行うのか理由を明らかにしてください。また、空港島は、名古屋港港湾区域の外です。なぜ、そのような場所を処分地にするのかも明らかにしてください。

港湾機能の維持や強化拡充に伴って発生するしゅんせつ土砂を、長期的、安定的に処分することができる大規模な土砂処分場の確保するための候補地として選定(大村管理者)

【大村管理者】名古屋港は重要な役割を担っている。本港が、持続的にこの役割を果たしていくためには、しゅんせつ土砂を、長期的、安定的に処分することが大きな課題となっていた。このため、中部地方整備局で2010年から新たな土砂処分場の確保に向け、複数の候補地から技術的、経済的な観点で比較を行うなど手順を踏んで検討が進められ、中部国際空港

